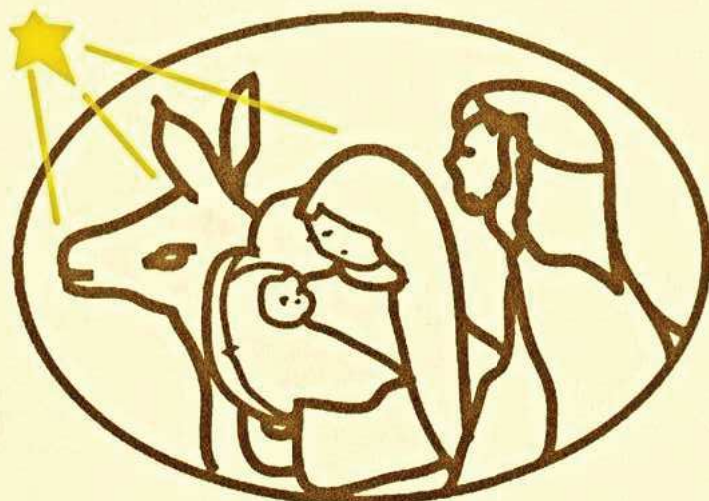


カトリック河原町教会だより

2014年12月



カルメル修道会（京都）・作

まことの神・まことの人

洛東ブロック担当 鶴山 進栄 神父

「そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であった時に行われた最初の住民登録である。」(ルカ2:1-2)

歴史的な観点からすると、これは残念ながら史実とは異なる(キリニウスがユダヤ人の戸籍調査を行ったのは紀元後のことで、紀元前8年～6年頃に他の総督が戸籍調査を行っているので、福音記者はそのことと取り違えたようだ)。

しかし1世紀後半、福音記者がイエス様の生涯を述べるにあたって、歴史的なデータを正確に記そうとしたその努力に意味がある。それはイエス様が想像上の人物ではなく、現実の世界に生まれ、生きたということを記したかったからである。イエス様を「まことの人」という時、伝統的に私たち人間の理解者であるということを示している。

「わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表わしている信仰をしっかりと保とうではありませんか。この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できな

い方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、私たちと同様に試練に遭われたのです。」(ヘブライ4:14-15)

このことは、ヘブライ書がイエス様が「まことの人」であることを強調したものであることを振り返ると、理解できる。「人間の理解者としてのイエス様」という理解は、私たちに慰めと安らぎを与えるものであり、これからも大切にされなければならないことであろう。

しかし、最近「まことの人」ということを別の視点から捉えることができるのではないかと思うようになってきた。それは、現実の世界に生まれ、生きたということであると同時に、イエス様が「神様の御旨を生きた」という点である。その最たるものが受難であろう。

信仰をもつことが現実逃避になったり、日常生活をおろそかにすることにつながってはいけない。嫌で、しんどくて、目立たなくて、つまらない、そんな平凡な現実に向き合っていくこと、これが「まことの人」である主イエスの御旨を生きるということではないだろうか。

(参考文献『キリストとその教会』p11)



神学院 レター

けんりゅう
大塚乾隆 神学生から



「神学院での生活」

河原町教会の皆さん、こんにちは。京都教区神学生の大塚乾隆です。皆様のお祈りとご支援に感謝申し上げます。神様に導かれ、皆様から励まされて神学院生活の4年目が終わろうとしています。今日はこの場をお借りして、神学院での生活を簡単に紹介致します。

神学院では6年間の養成を受けますが、東京と福岡にキャンパスがあるので、1・2・6年生は東京キャンパスで、3・4・5年生は福岡キャンパスで養成を受けています。司祭養成は人間的養成・知的養成・霊的養成・宣教司教的養成の視点で行われます。これらについては、教皇ヨハネ・パウロ二世の使徒的勧告『現代の司祭養成』(42-59)に詳しく書かれています。

日々の生活は朝の祈りと念祷、ミサで始まります。月曜日から土曜日の午前中は「知的養成」に重きが置かれていて、時間割に沿って授業が行われます。授業が終わると少し時間があるので、私は気分転換と運動を兼ねて散歩をしています。また週に1度は有志でサッカーをしています。食事は作って頂けますが、それ以外のことは自分たちで行うので、空いている

大塚乾隆神学生プロフィール

霊名 ガブリエル
出身地 京都市
誕生日 1982年1月23日

時間に共用スペースの掃除をします。いずれは全てを自分でしなければならなくなるので、そのための訓練をしていると言えるでしょう。

土曜日の午後から日曜日にかけて「宣教司教的養成」として、一年を通して同じ教会に派遣されます。そこでは、侍者奉仕だけではなく、ミサの朗読や聖体拝領の手伝いなど自分に任されている役割に応じて奉仕をします。「霊的養成」では、日々の生活の中で、神のことばによる黙想・聖体祭儀(ミサ)・時課の典礼(教会の祈り)への行動的参加を通して、イエス様とより近い関係を築いていきます。聖体賛美式やロザリオ、十字架の道行きなども行います。また、年に2回は日常生活を離れて黙想する機会に恵まれています。

神学院では前期と後期にそれぞれ試験が行われます。試験が終わ

ると神学院は休みになります。その間は地元での養成が行われず。京都教区の場合は教会に滞在し、神学院での生活のリズムを崩さないように朝晩の祈りと念祷を行いながら、教会や教区の行事のお手伝いをします。また、自分たちで食事を作ることもあります。私はこの4年間で、司祭に向けての養成を受けるだけではなく、料理やアイロンかけの腕もみがくことができました。

1年はあつと言う間に過ぎていきます。しかし、単に単位を取れば進級できるわけではありません。司祭養成の4つの次元が総合的に加味され、神さまの慈しみのうちに、私たちは司祭叙階に向けて歩んでいきます。2年生の終わりに「助祭・司祭候補者」に認定され、3年生の終わりに「朗読奉仕者」に、4年生の終わりに「祭壇奉仕者」に選任されます。5年生の終わりに助祭叙階、そして6年生の終わりに司祭叙階を迎えます。

私たち神学生がこれからも神様の用意された道を歩んでいけますよう、どうぞお祈りください。



日本カトリック神学院(福岡キャンパス)

- をテーマに皆で学ぶ。③キリシタン研究会 日本二十六聖人記念ミサを北村神父指導のもと、京都キリシタン研究会との共同主催で来年二月一日に行う予定。来年度「大巡礼」では「堺市引き回し」ルートの巡礼を予定。④ザビエル訪れ会 来年度訪問計画の立案が完了した。
- 施設管理部 ①教会美化デーを十一月三十日に実施予定。②聖堂内の放送設備改善、補聴システム導入工事は十一月七日で完了。九日の三回のミサ時に実施テストした後、修正作業を行う。
- 広報部 ①ウェブサイトのリニューアルは予定通り十一月三十日に実施。②教会リーフレットが在庫切れのため、同種のリーフレット作成に取りかかる。
- 行事予定
四ページの行事予定欄に記載。
- 協議事項
◇クリスマス関連事項
①チャリティアイコンサートに先立って、担当者より、祭壇横オルガン専用のスピーカー設置必要の説明がなされ、新設することが承認された。
- ②クリスマス市民の集いにおける祭儀のライブ放映等、準備の進捗状況など。
- その他
◇来年度役員選出について
本評議会冒頭で、選挙管理委員長から来年度役員改選候補者三名を受付締切日(十一月二十三日・十二時)までに登録完了する旨の説明があり、各部に必要書類が配付された。
- ◇聖書朗読者の募集は継続する。
- ◇右近殉教四〇〇年祭ミサ(神戸)への団体参加申し込みは十一月二十日締切り。
- ◇年末年始のミサの日程を確認。

待降節 からスタートする 「典礼暦年」(教会カレンダー)

教会は、イエス・キリストの救いの業を、一年を通して記念し、祝っています。教会の暦は毎年「待降節第1主日」から始まり、「王であるキリストの祭日」(年間第34週)の後の土曜日で終わります。

◆今年(2014年)は11月30日から新しい年、B年が始まりました。B年とはマルコ福音書が主に朗読される年を言います。ちなみに、A年はマタイ福音書、C年はルカ福音書が主に朗読されます。ヨハネ福音書は毎年、四旬節や復活節などに朗読されます。
*右の図は1年間の典礼暦年を表したものです。(カトリック新聞・1990年12月23日号より転載)

◆典礼暦年は大きく以下の3つに分けられます。

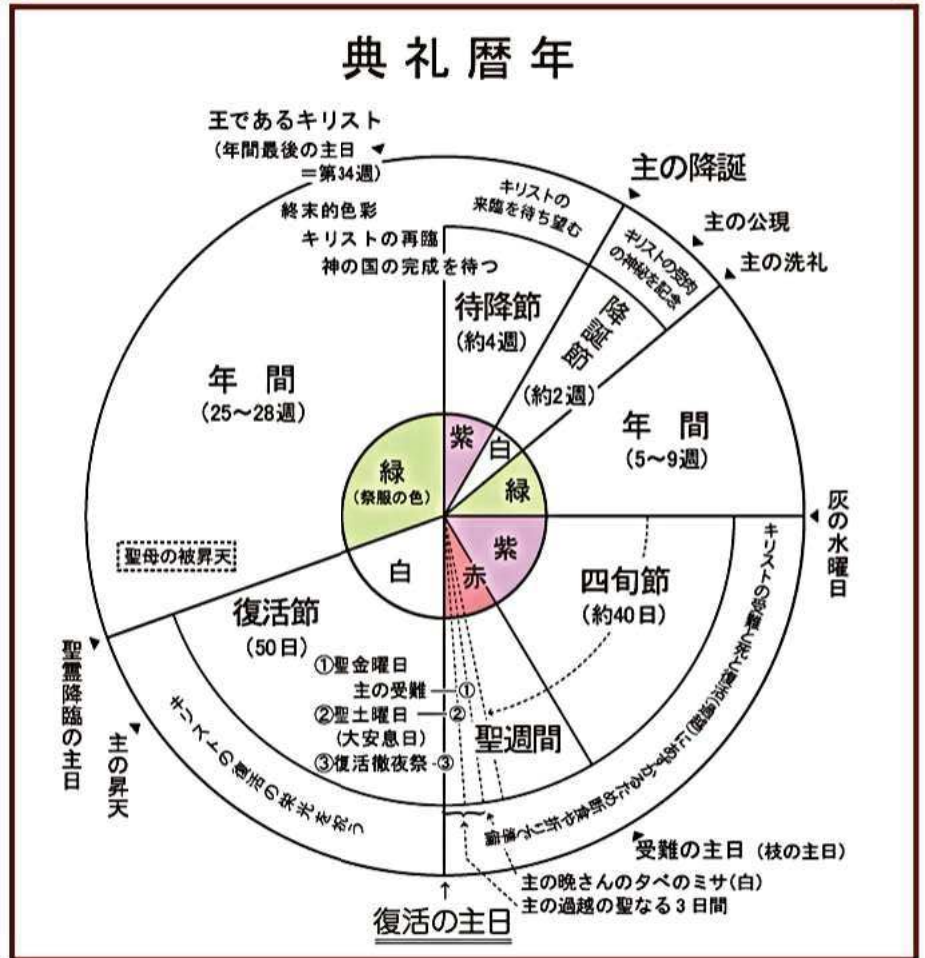
- ① 典礼暦年の頂点、「復活の主日」(春分の日の後に来る満月直後の日曜日・移動祝日)を中心とした前後の「四旬節」と「復活節」で過越の神秘を祝い記念する期間。
- ② もうひとつの頂点である「主の降誕の祭日」(12月25日・固定祝日)を中心としたその前後の「待降節」と「降誕節」。
- ③ ①と②の4つの季節以外の期間である「年間」。

2014年 河原町教会 クリスマスの予定

- ☆ 待降節黙想会 12月6日(土) 10:00
- ☆ クリスマスチャリティーコンサート 12月14日(日) 15:00
- ☆ クリスマス市民の集い 12月24日(水) 18:30
- ☆ 主の降誕夜半ミサ 12月24日(水) 21:00
- ☆ 主の降誕ミサ 12月25日(木) 7:00・10:30



典礼暦年



◆わたしたちは、この一年を周期として、イエス・キリストの受肉・降誕・公生活・受難・復活・昇天・聖霊降臨、そして神秘全体を、主の来臨を待望しつつ祝っているのです。典礼暦年は、信仰生活の基盤であると言えるでしょう。

河原町教会十一月評議会報告要約

開催日 二〇一四年十一月八日(土)

■司祭団の報告

①クリスマスに向け、信徒一同の協力をお願いします。②二〇一五年四月十八日(土)ヴィアートル修道会所属助祭の司祭叙階式が行われる予定である。③4階で水漏れが発生しているため、修理費用が必要となる。

■洛東ブロック会議報告

(十月十八日・伏見教会で開催)

①来年度は、ブロック事務局担当が山科教会、会計担当が河原町教会。②二〇一五年・四旬節黙想会は二月二十一日に山科教会で開催の予定。③今年度の各教会短期目標は概ね達成できたと言える。

■部会報告

■部会報告
 典礼部 ①衣笠でのミサと合同墓参は無事終了した。②ミサ時、特に聖堂後方の献金回収がスムーズにできるよう、聖堂案内係の配慮を強化したい。

財務部 ①維持献金未納者への納入依頼書の作成が完了し、順次該当者に発送する予定。②各部会の予算執行状況報告と来年度予算申請書の提出は、十一月十六日を期限とする。

教育部 ①土曜学校十月四日に皆でロザリオの祈りをした。十月二十五日にドミニコ会シスターからウォーカーソン支援先の実情を聞いた。スポンサー呼びかけ実施、百二名の協力を得た。当日の参加者は計二十六名。十一月一日からクリスマス会準備をスタート。②中高生会 十月十九日の遠足は高槻・茨木方面で、高槻城址等を訪問、NHKの取材を受けた。③二学期の授業は「キリスト教の二千年」

◆ 2014年12月・2015年1月の行事予定 ◆
(1月は予定です。変更の場合があります)

行 事 予 定		
12月	6 土	河原町教会主催:待降節黙想会 10:00~16:00
	7 日	評議会 12月例会 10:30 ミサ後
	14 日	クリスマスチャリティーコンサート 15:00
	24 水	クリスマス市民の集い 18:30
		主の降誕夜半ミサ 21:00
25 木	〈主の降誕〉ミサ 7:00・10:30	
1月	1 木	〈神の母聖マリア〉元日ミサ 7:00・10:30
	4 日	〈主の公現〉河原町教会評議会 1月例会 10:30 ミサ後
	24 土	洛東ブロック会議(山科教会) 14:00
	25 日	村上透磨神父(トマス・アキナス1/28記念日)霊名のお祝い 10:30 ミサ 河原町教会総会 10:30 ミサ後

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)



～七五三の子どもたち おめでとうございます～11月9日 ミサで祝福

*「ぶどうの会」ミニバザーが開催されます

12月7日(日) 10:30のミサ後、「ぶどうの会」ミニバザーが開催されます。手作り品など、心を込めた品が販売されますのでご協力をお願いします。収益金は東日本大震災復興支援と京都聖嬰会(児童養護施設)に送られます。
*このバザーにおいて、集会室図書コーナーに寄贈された書籍(重複本)の提供もあります。これらの本は、ご自由に献金の上お持ち帰りいただけます。

◆ ウォーカソンが終了しました

去る11月3日(月)にウォーカソンが開催されました。青空のもと、土曜学校からは26名が参加しました。スポンサー102名の皆様のご協力に支えられ、計154,600円の収益金がありました。ご協力に感謝いたします。

◆ ブラジル・フマニタス慈善協会のためのバザーが、前庭で10月26日(日) 10:30 ミサ後に行われました。多くのご協力に感謝いたします。

◆ クリスマスチャリティーコンサートのチケットを販売中です。ご協力をよろしくお願いいたします。(¥1,000/小学生以下無料)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井 拓夫神父 (1F)

19:15 一場 修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上 眞理雄神父 (1F)

19:00 花井 拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井 拓夫神父 (3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父 (1F)

※鶴山 進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「秘跡を学ぶ」

12月18日(木) 14:00

テキスト『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

◆ 旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導 鶴山 進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

◆ 参加ご希望の方は、事務室までお申し込みください。

レクチオ・ディヴィナの前、10時からミサが行われています。どなたでもご自由にご参加ください。